2013年度
明治学院大学
キリスト教週間

明治学院を築いた人たち

1863(文久3)年ジェームズ・カーティス・ヘップバーン(ヘボン)がクララ夫人と共に横浜の自宅に英語などの普通教育を施す「ヘボン塾」を開設、ここから明治学院の歴史が始まりました。

ヘボンの他にも、S.R.ブラウン、G.H.F.フルベッキ、W.インブリー、J.C.バラ等、当時の日本にやってきた宣教師たちの情熱、使命感により明治学院は築かれました。

その中から、ヘボン、クララ、ブラウン、J.C.バラ、インブリーについての人となりを語っていただきます。

明治学院大学 キリスト教週間
10月21日(月)～10月26日(土)
明治学院大学では、キリスト教への関心を深める機会として、
「キリスト教週間」を設けています。

●チャペルアワー 10月21日(月)～25日(金) 12:35～13:00

この行事は、一般の方もご参加いただける公開行事です。無料・申込不要です。

●フィールドワーク 10月26日(土)横浜編

この行事は、一般の方もご参加いただける公開行事です。参加ご希望の方は白金宗教部までお申し込みください。お申し込みの際は、住所・氏名・電話番号、生年月日(傷害保険加入時必要情報)が必要となります。 ＊保険加入料は大学が負担

参加申し込み締切日:10月19日(土)

【主催・問合わせ・申し込み先】
明治学院大学宗教部事務課 (記念館2階)
東京都港区白金台1-2-37 TEL:03-5421-5218 (月～金曜日9:00～16:30)

お申し込みは以下のメールアドレス、FAXまたは直接宗教部へお越しください。
メールアドレス:Shukyos@mguad.meijigakuin.ac.jp
FAX:03-5421-5459

MEIJI GAKUIN UNIVERSITY 150th Anniv.

チャペルアワー(大学礼拝)

10月21日(月)～25日(金)　12:35～13:00
白金校舎・チャペル

10/21(月)

「クララ夫人 ― ヘボン塾最初の教師 ―」
中島耕二　先生(教養教育センター客員教授)

【プロフィール】
中島耕二(なかじま・こうじ)
1947年茨城県生まれ。1970年明治学院大学法学部卒業。2011年東北大学大学院文学研究科歴史科学専攻博士後期課程修了、博士(文学)。
現在、明治学院大学教養教育センター客員教授、明治学院歴史資料館研究員。

■クララ夫人　Clara.M.Leete (1818～1906)
外国伝道を目指すヘボン博士と同じ考えを持ち合わせ、周囲が誰一人賛成しなかった日本での伝道を熱心に支持し共に歩んだ。
ヘボン塾最初の教師となり、英語を担当。英語教育には厳しく、正確な発音を教えるということで定評があった。

10/22(火)

「20人のS.R.ブラウン」
岡部一興　先生(キリスト教研究所協力研究員)

【プロフィール】
岡部一興(おかべ・かずおき)
1941年東京都生まれ。明治学院大学大学院経済学研究科修士課程修了。明治学院大学キリスト教研究所協力研究員、キリスト教史学会庶務理事、横浜プロテスタント史研究会世話人。

■S.R.ブラウン　Brown, Samuel Robbins (1810～1880)
1859年、ヘボン博士の半月後に来日。牧師。宣教師。聖書翻訳を第一と考えており、「ヘボン、ブラウン共訳・新約聖書」は後の各派共同聖書翻訳事業へとつながる。英語塾から出発したブラウン塾は、神学塾へと変わり、後年、東京一致神学校に合流し明治学院の源流となる。横浜校舎にある「ブラウン館」にその名が残る。

礼拝は、様々な方からの奨励を聞いて過ごす、本学が日々行っている祈りの時間です。
パイプオルガンの演奏・讃美歌合唱・聖書朗読がありますが、一般の方も、はじめての方もご参加いただけますので、どうぞお気軽にお越しください。

10/23(水)

「明治学院とジョン・バラ」
岡部一興　先生(キリスト教研究所協力研究員)

■J.C.バラ Ballagh, John Craig (1842～1920)
1872年、実兄J.H.バラの招きで来日。宣教師。横浜高島学校で英語、聖書の教師をしていた。1875年居留地のヘボン塾を譲り受け"バラ学校"と呼ばれるようになった。1880年に築地大学校の校長となり後に明治学院の教授、天文学、簿記学を教えた。1920年に昇天、夫人レベッカと共に瑞聖寺に眠る。

10/24(木)

「ヘボン夫妻による150回目の誕生日」
大西晴樹　先生(明治学院学院長)

【プロフィール】
大西　晴樹(おおにし・はるき)
神奈川大学大学院経済学研究科博士課程修了後、1983年に明治学院大学経済学部(西洋経済史)に着任し、1993年教授。経済学博士。経済学部長、学長歴任、2012年より学院長。キリスト教史学会理事長、キリスト教学校教育同盟常任理事。

■J.C.ヘボン　Hepburn,James Curtis(1815～1911)
1859年来日。宣教医師。33年間日本に在住。医師としてだけでなく、その活動は多岐にわたるマルチ人間であった。33年間に200通以上のミッションレポートを送り続けた。白金校舎中央の研究棟は「ヘボン館」と命名されている。

10/25(金)

「インブリー博士来日の使命」
中島耕二　先生(教養教育センター客員教授)

■W.インブリー Imbrie, Willam (1845～1928)
1875年来日。牧師。宣教師。1877年明治学院の前身である東京一致新学校の専任教授に就任。明治学院になってからも教授や理事を務め、学院のために尽力した。白金校舎記念館と本館の間にある洋館はインブリー博士が永年住居したことからインブリー館(国の重要文化財)と命名されている。

フィールドワーク　横浜編
10月26日（土）
引率・解説：司馬純詩（宗教部長・国際学部教授）

フィールドワーク
横浜の明治学院ゆかりの地

日程：10月26日（土）雨天決行、荒天の場合中止
集合場所：横浜開港資料館中庭ガス灯付近　＊宗教部職員が待機しています
　　時間：午後3時
フィールドワーク引率・解説：司馬純詩（宗教部長・国際学部教授）
　　予定時間：午後3時～5時
※午後2時30分までに各自で開港資料館に入館し、展示「宣教医ヘボン」をご覧ください。展示見学後、続いて近隣フィールドワークを行います。

フィールドワーク
見学予定地と経路

開港資料館　→　開港広場　→　横浜海岸教会（旧日本基督公会）　→　象の鼻　桟橋と鉄道橋下の絵図　→　日本大通り　→　旧居留地39番など。開港当時の説明と共に「ヘボン博士が購入した居留地39番の土地」へ向かい、当時の様子を探ります。
その他、この周辺には成仏寺、宗興寺、指路教会、開港記念館、運上所跡、また、居留地39番より先にも山手245番「ヘボン博士邸碑」、外人墓地、先志学校跡（フェリス大）、ユニオンチャーチ、聖書和訳の碑（共立女学院跡）などがあります。ただし、これらは徒歩圏内をはずれるため、解説にとどめます。

==========

横浜開港資料館：入館料　大人200円
〒231-0021　神奈川県横浜市中区日本大通3 TEL:045-201-2100

==========